

習志野山楽会 夏の特別・自主山行 1 2 回目  
北ア奥深い・双六岳－三俣蓮華岳－鷲羽岳 山行記  
2022.8.1st (Mon) -5th (Fri)



昨年 8 月、計画するも「台風 9 号接近」で止む無く中止、今回は女性 Member 2 名が男性 Member に替わり 6 名で。女性からの要請「主に高山植物の観賞」で余裕を持ち「夜行 BUS でなく、昼の高速路線 BUS で飛騨市・平湯温泉に前泊、山小屋 3 泊、5 日間」。一般の Tour は 3 泊 4 日コース。

実行 COURSE-TIME 累計標高差+-2672m/37km/4 日間の山行

新宿バスタ (Bus-Terminal) から平湯温泉まで往復・高速路線「濃飛 BUS：新宿高山線」。

往路：前泊の平湯温泉から新穂高温泉まで Jumbo-Taxi「宝 Taxi」

帰路：新穂高 Ropeway-BS から「濃飛・路線 BUS」で平湯温泉へ

8/1 月曜、晴れ 11：05 新宿バスタ出発→中央道・談合坂 SA/諏訪湖 SA 休憩→  
松本 IC15：38→平湯温泉 15：50→旅荘「つゆくさ」16：00 到着、泊り。

8/2 火曜、快晴・暑い 5：25 Jumbo-Taxi で出発→6：00 新穂高温泉・登山口→  
7：23 わさび平小屋 → 8：55 秩父沢出会い→12：20 鏡池 →  
12：40 鏡平山荘 2290m 到着、泊り。

8/3 水曜、曇り－濃霧－雨 山荘 5:25 出発→6:36 弓折乗越→ 8:00 「双六小屋」  
→巻道分岐・稜線ル-ト→9:30 「双六岳 2860m」→ 中道分岐→「丸山 2854m」→  
11:05 「三俣蓮華岳 2841m」→11:35 「三俣山荘 2540m」到着、泊り。

8/4 木曜、雨－曇り－晴れ \*雨天後で急坂ある「鷲羽岳」登山は中止。  
山荘 7:25 出発→8:06 巻道分岐・巻道ル-ト→9:56 三俣分岐→  
10:36 「双六小屋 2600m」到着、泊り。

8/5 金曜、雨－曇り－晴れ 小屋 4:15 出発→弓折乗越→6:45 「鏡平山荘」朝食  
→9:40 秩父沢出会い→11:55 「わさび平小屋」→12:15 新穂高温泉・登山口→  
12:30 新穂高温泉「日帰り入浴：中崎山荘・奥飛驒の湯」LUNCH→  
14:55 新穂高 Ropeway・濃飛バス路線 BS→15:20 平湯温泉・高速路線・濃飛 BT→  
16:05 平湯温泉・高速路線・濃飛 BUS 出発→往路と同じ Route：中央道・談合坂 SA/  
釈迦堂 PA 休憩→20:35 新宿バスタ到着→JR 新宿 20:46→JR 津田沼 22:04→  
自宅に安着 22:30。

【山行記】 8月1月曜～5金曜、昼の高速路線 BUS で飛騨市・平湯温泉に前泊、山小屋 3泊5日間。山楽会有志 6名「夏の特別自主山行 1 2 回目：2020 年 8 月の爺が岳－布引山－鹿島槍ヶ岳縦走」以来 2 年振り。

特に印象に残ったのは、先ず「天候に恵まれ、雨具を使ったのは 8/3 午後と 8/4 午前のみ」。青空の下の眺望「秩父沢からの槍ヶ岳と小槍、鏡池に映る槍ヶ岳と穂高連峰」。濃霧の中「雷鳥」との出会い。登山道やお花畑で見た数多くの高山植物  
「チングルマ、ハクサンイチゲ、ゴゼンタチバナ、コオニユリ、イワカガミ、ヨツバシオガマ、ミヤマトリカブト、ニッコウキスゲ、ウサギギク、ミヤマキンポウゲ、ミヤマクロユリ等々」。わさび平小屋「冷えたトマト、冷そうめん」、鏡平小屋「かき氷」三俣山荘「ジビエのシチュウ」、双六小屋「野菜のてんぷら」、そして、風呂上がりの「生ビール」でした。

8/1 月曜、夏休みに入り混雑の「新宿バスタ」を、ほぼ満席で出発。昼の高速道は混雑なし、中央道・談合坂 SA/諏訪湖 SA でトイレ休憩、松本 IC 経由野麦街道へ。ほぼ定刻通り「平湯温泉」到着 15:50、徒歩数分で今夜の宿・旅荘「つゆくさ」に到着。Self 自動 Check-In/Check-Out で離れ 2 階の部屋へ。貸し切りの露天風呂で汗流し、17:10 夕食は徒歩 10 数分の古民家造り「お食事処・禄次」へ。この辺は「高山市奥飛騨温泉郷平湯・平湯民族館」や「露天風呂」、隣接の「平湯神社」が。丁度、今夜から 5 日（金曜）まで「夏の例祭」始まりで、夜店数軒が準備中だった。明日は「距離 9.4km、標高差・登り +1244m の登山初日」、支度準備して 20:30 就寝。

8/2 火曜、早朝 4 時前起床、各自が持参した朝食を。COVID-19 の影響で廃業や週末のみ営業などで苦勞して予約した 9 人乗りの Jumbo-Taxi で 5:25 旅荘を出発。雲一つない

快晴の青空、5:45 新穂高温泉登山口に到着、数名の登山客が身支度中。Warm-Up 体操し 6:00 登山 Gate を通り、日陰の樹林帯・左俣林道に入る。蒲田川・左俣沢沿いに進むと沢からの涼風や霧 (Mist) の中を、所々で「高山植物」を確認・撮影しながら緩やかに登り始める。30 分後、前方左上に「日本百名山・笠ヶ岳 2898m」の姿を臨む。さらに進むと右手山側・岩の間から冷たい乾いた空気が出ている「風穴」発見、しばらく天然 Cooler を味わい休憩。冷たい水場に笠ヶ岳への笠新道分岐点で給水。 7:25 分、樹齢数百年のブナ原生林など落葉広葉樹に囲まれた「わさび平小屋」に到着。ここまで標高差 300m・90 分。湧き出る冷水で冷やしたトマトを食して休憩。ここから「小池新道」に入り、熊出没を警戒するため、所々の「音だしブリキ缶」を叩いて進む。日当たりの良い石畳みの緩やかな登り、灌木の中を行くと枯れた石畳沢を過ぎ 8:55 「秩父沢」に出た。樹木の間から「槍ヶ岳本峰と小槍」を見つけた。大勢の登山客が休んでおり、少し先の木陰で休む。



この辺りから、登りと強い日差しで、バテ気味になる。更に樹林帯の中を進み開けた草原「イタドリが原」に出た。九十九折れに進んで急登を繰り返す。背中からの強い日差しもあり「熱中症」になった登山者がいたようだ。斜面一帯に「ミヤマシシウド」が見られ、10:27 指導標識「シシウドが原」に着く。ここで休憩、振り返ると蒲田川の流れを見下ろし、奥に穂



高連峰の岩峰が黒々と観えた。更に涸れた沢や急斜面を何とか登り、11:16 岩に描かれた「あと 5 分：現実には倍の 10 数分」表示に励まされて、湿原の木道の先にある「鏡平：鏡池」に到着 12:20。ここから約 50m 先が今日の宿泊地「鏡平山荘」。

目前に「槍ヶ岳、穂高連峰」が迫り、皆、感激の雄叫び?! 池畔には木製テラスがあり絶好の展望台に。重いザックを下ろし、写真撮影に入る。池の水面に映る峰々を撮ろうとするが、少し風が吹くため槍の先鋒が歪んでいる。記念撮影、展望を楽しみ 12:40、ここまで「9.4km/+1244m-58m」を約 7 時間、7 月末の「木曾駒ヶ岳」に続き、幸いにも晴天に恵まれ暑い中、何とか全員元気に踏破できた。改装されて何もかも快適な造りの指定された部屋は 42 名だが平日で客少なく個室状態。早速、山荘前のベンチで昼食。先ず、女性は「名物・かき氷」、男性は「小さいグラス生ビール」。

明日は Up-Down 多い「双六岳から三俣蓮華岳への縦走」に備え、夕食前に昼寝を約一時間、早めの就寝 20:00。

8/3 水曜、早朝 3 時過ぎ起床、4:30 朝食、出発前に「鏡池」へ写真撮影。

5:25 晴れている山荘出発。今日は「山行最難関の行程: 8.3 km / +884m - 616m」。

先ず、山荘裏の「双六岳 2860m、+560m」の上りへ。「槍ヶ岳、穂高連峰」は今朝も鮮やかに観え、山麓の谷間には雲海が。最初から急登だが歩き易く森林限界を過ぎる辺りから風が吹き抜けて気持ち良い。弓折岳山腹を巻きながら主稜線の「弓折乗越」に到着、休憩 6:36。天気予報では「稜線の強風と午後から雨に」。先を急ぐ。ここからは緩やかな Up-Down を繰り返す。眺めの良い稜線だが「約 8-9m/sec の強風と濃霧 (ガス)」が西側から吹き上げるので視界は 10 数 m。「お花畑」にはガスの中に、数多くの高山植物が観られた。そして



ミヤマクロユリ



ヨツパンオガマ



ウサギギク



ユオニユリ

登山道に残雪を発見 6:52。この先は時折、背丈以上のハイマツのトンネルを潜り抜けて進む。強風の稜線から左に外れ、山腹を巻きながら下り、左手に「双六池とテント場」が見えた。少しの上りで、赤茶色の屋根「双六小屋」に 7:56 到着。給水とトイレ休憩。ここには「富山大学診療所」も在り、夏季の 7 月末から 8 月末限定で開設している。小屋の東側から明日登る予定の「鷲羽岳」が眺められた。休憩ののち小屋後ろの急斜面へ出発、左の稜線ルートへ。ハイマツの尾根をひと登りすると台地の「巻道・中道分岐」に 8:46 到着。ここを左の「お花畑」へ道をジグザグに進み岩場の急坂を登ってゆき、登り切るとなだらかな砂礫の稜線「双六岳独特の頂陵部」に出た。暫くすると濃霧の中に「雷鳥のつがい」発見 9:14。間もなく



「双六岳」頂上の標識と三角点に到達、9:30 記念撮影、9:45 ここでも又「雷鳥のつがい」発見、慌て写真を。濃霧で視界は ZERO、晴れると 360 度の大パノラマが観られたのに残念。ここから「三俣蓮華岳」までの稜線には見ごたえのある「お花畑」が点在していた。稜線ルート途中の「丸山 2854m」を過ぎ、10:09「中道稜線分岐」、そして 11:05「三俣蓮華岳」の標識に到達。しかし頂上ではなく、更に数



m 先にあった。記念撮影直後から予報より早くポツリと雨粒が、雨具に着替えて下山開始、「三俣山荘」へ。濡れた雨具などを乾燥室へ直行、部屋は2階の6名個室へ。強風、濃霧そして雨にも拘わらず全員、今日も元気に予定を踏破した。乾いた喉をビールとハイボールで潤して17時の夕飯直前まで昼寝を。夕食に長野県で獲れた「鹿肉(ジビエ)のシチュー」が出た。匂いもなくトマト味で美味しかった。食後はNHK-BS-TVでも放映されたVideoを見ながら赤Wineを空ける。雨は相変わらず降り続き、時々雷の音も聴こえ明け方まで夜通し降っていた。明日予定の「鷲羽岳」登山は残念ながら、急坂の危険もあり「中止」とした。

8/4木曜、早朝4時過ぎ起床、5:00朝食。昨日からの雨が未だ降り続き、遅止みになるのを待つがダメ。雨具の完全装備で7:25見切り発車、風は弱いが大雨の中、小屋を出発。昨日ほどではないが「6.5km/+723m-723m」とUp-Downの多い行程だ。降り続けている雨水が登山道に流れ出し、この後、雨が止んでも「双六小屋」まで断続的に続いた。8:06「黒部五郎岳への分岐」、9:56「三俣分岐」到着、ここからは往路よりUp-Downが比較的少ない別の「巻道ルート」を下山。10:36今夜泊りの「双六小屋」に到着。午後からは再び雨に、15時頃まで「雷雨」。昼寝を15時頃から約一時間。夕食は17時から「最後の夕食でアルコール解禁、日本酒を「野菜中心のテンプラ」を肴に味わった。明日は最終日、一気に出発点の「新穂高温泉」までの13kmを7時間かけて下りる長丁場だ。19:45就寝。



8/5金曜、山行最終日、一挙に「新穂高温泉登山口」まで下山する。早朝起床にも慣れて3時過ぎ起床、朝食は昨晚、予約した「弁当」に。曇り空、Head-Lampを付け4:15小屋を出発、往路と同じルートを。登頂を断念した「鷲羽岳」を背後に、「裏銀座ルート」とも別れ、「双六岳」を背景の「お花畑」で、往路では気づかなかった花々を発見・確認しながら順調に進み6:45「鏡平山荘」到着。行きに預けた荷物を引取り、朝食の前に再度「鏡池」に。今朝は晴れて風も弱く、池面に映る



「槍ヶ岳、穂高連峰」を再度、眺め写真撮影などで堪能。「鏡平山荘」前のベンチで朝陽を浴びながら朝食「混ぜご飯弁当」を。9:45「秩父沢」で休憩、10:45「石畳沢」、「シシウドが原」、「イタドリが原」を経て通る「小池新道」は登りに比べると下りのせいか安心？出来た。「蒲田川・東俣林道」に出て平坦になり、一足お先に「わさび平小屋」到着10:45、

「名物の冷えたトマトと冷やそうめん」を頂いて皆を待った。休憩ののち小屋を出発  
11：15、計画より10数分早い。林道歩きで女性達も元気復活、一時間余りで12：15  
「新穂高温泉 Ropeway 駅」前の濃飛 BS に到着。乗車する路線 BUS 時刻、集合時刻を確認  
して徒歩数分下りた所にある「日帰り入浴：中崎荘・奥飛騨の湯」へ急ぐ。4日間の汗と埃  
を温泉で洗い流し昼食を。集合場所へ向かう14時過ぎには「にわか雨」が。山行途中での  
「雨との遭遇」は恵まれ、降られたのは「8/3 水曜、三俣蓮華岳から三俣山荘への下山」  
と「8/4 三俣山荘から双六小屋への上り」の2回と恵まれた山行に。14：55 新穂高温泉  
Ropeway 駅前 BS から濃飛路線バスで平湯温泉 BT、16：05 平湯温泉 BT から濃飛高速路  
線バスで新宿バスタ。中央道・諏訪湖 SA／釈迦堂 PA で休憩、途中の渋滞もなく10分余り  
早く到着。20：46JR 津田沼駅到着、2225 自宅安着。 (記：MS)

